

## 《単位互換提供科目詳細》

\* 科目 No. 1114

## 科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島経済大学	科目開講 キャンパス	本学、興動館				
2. 科目名	正式科目名	広島を学ぶ ヒロシマを歩いて考える			クラス名		
	副題				配当年次	1	
					受入学年	1年以上	
	旧科目名						
	学問分野	番号	11	名称	文化・文学		
	サテライトで開講される科目の科目群		A群	B群			
3. 担当教員名	岡本 貞雄・教養教育・教授 / 濱田 敏彦・教養教育・教授 徳永 博充・メディアビジネス・教授 / 竹林 栄治 経済・准教授						
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期集中				
6. 開講期間 曜日・時間	2017年 8月 28日(月) ~ 2017年 8月 30日(水) 8/28(月) 12:30 ~ 8/30(水) ~15:30						
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /	
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /	
	13回目 /	14回目 /	15回目 /	16回目 /	試験日	/	
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数 (総授業定員)	5人		9. 定員超過時の 選考方法	なし			

10. 科目内容・授業計画	<p><b>1. 科目内容</b> 戦後71年を経過し、被爆者も高齢化しヒロシマの記憶が薄れつつある。この記憶の伝承が途絶えた時、人類は同じ過ちを犯してしまう可能性が高まるのではないかと危惧されている。現在、若者たちへの伝承をいかに行うかが、各所で大きな問題になっており、いろいろな試みが行われているが、どのような形で行えばよいのか、決定的なものはないように思われる。これはヒロシマの記憶だけではなく、戦争がもたらした記憶の多くに通じることである。本講座は、実際に広島を歩き、机上の知識としてだけではなく、身体を通じてヒロシマを理解することを目指したものであり、人間一人ひとりのいのちの重さに視点を当ててより深い理解を目指す。本講座により広島を踏まえた人生観が育つことを期待する。【身につく力】{知識・理解}{問題解決力}</p> <p>8月28日(月)から30日(水)まで3日間の集中講義とし、興動館を宿舎として泊まり込みで行う。</p> <p>8月28日 広島経済大学に集合 第1回 オリエンテーション(岡本) 第2回 戦前の広島(濱田) 第3回 戦中の広島(竹林) 第4回 戦後の広島(徳永) 第5回 被爆直後の状況について講演 夜は広島についてのフリートーキング</p> <p>8月29日 第6回 広島城(広島壊滅) 第7回 袋町小学校(都心の惨状と避難生活) 国泰寺高校(動員生徒の生死) 第8回 ANAクラウンプラザホテル屋上(ヒロシマの復興) 第9回 日本赤十字病院、御幸橋(救助の実態) 第10回 糧秣廠跡地、千暁寺、宇品港(もう一つのヒロシマ) 第11回 平和公園 夜は、広島関係者を交えた討論会</p> <p>8月30日 第12回 江田島海上自衛隊第1術科学校(海軍兵学校の意味) 第13回 江田島海上自衛隊教育参考館(戦争の残したもの) 第14回 呉港・海軍墓地(兵どもの夢の跡) 第15回 総括</p> <p>※15回目の授業終了後、希望者は大和ミュージアム等を見学。希望者は呉で解散</p> <p>講義内容は現地の状況、証言者の事情等により変更の可能性があります。</p>		
11. 試験・評価方法	2,000字以上のレポートを担当教員が読み、総合的に評価します。(70パーセント)出席態度と、出席状況も(30パーセント)の評価にします。		
12. 別途負担費用	宿泊費(2泊)食費(6食)交通費(バス代)がかかります。3,000円の予定。		
13. その他特記事項	3日間泊まり込みで行うので、各自健康管理をしっかりすること。2日目は30度を超える場所を移動するので防暑対策を十分にすること。不明な点があれば、授業担当者まで問い合わせてください。 開講学期は前期集中講義ですが、成績評価は後期(9月下旬)となります。		
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生(単位付与)として受け入れ	可	否
	聴講生(単位認定不要)として受け入れ	可	否